

『ユニオンファンド』

第3期 運用報告書 (決算日 2011年9月30日)

〔 2010年10月1日から
2011年9月30日まで 〕

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式 ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	原則として無期限
運用方針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、 「期待収益率が高い」と思われる資産に積極 投資をします。
主要運用対象	国内外の株式を投資対象とする投資信託証 券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を 設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資は、 原則として信託財産の純資産総額の50% 未満とします。 ③外貨建資産への投資には制限を設けま せん。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配 を行います。分配金額は、委託会社が基準 価額水準、市況動向等を勘案し決定しま す。ただし、委託会社の判断により分配を行 わないことがあります。

受益者のみなさまへ…

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております『ユニオン
ファンド』は、2011年9月30日に第3期の決
算を行いました。ここに期中の運用状況をご報
告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお
願い申し上げます。

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

ユニオン投信株式会社
業務管理部/コンプライアンス室
TEL : 0263-38-0725

受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：<http://www.unionam.co.jp/>



Union Asset Management Inc.
ユニオン投信株式会社

〒390-0815
長野県松本市深志一丁目1番21号
中田歯科ビル5F

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
(設 定 日)	円	円	%	%	百万円
2008年10月20日	10,000	—	—	—	108
1期 (2009年9月30日)	12,567	0	25.7	93.5	480
2期 (2010年9月30日)	13,160	0	4.7	97.0	865
3期 (2011年9月30日)	11,038	0	△16.1	97.1	972

(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は前期末比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

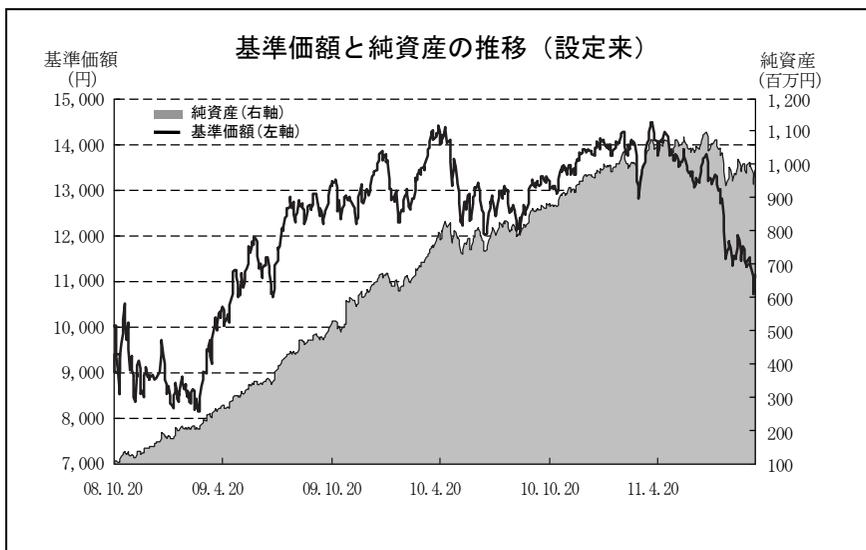
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産総額
	騰 落 率			
(期 首)	円	%	%	百万円
2010年 9月30日	13,160	—	97.0	865
10月末	13,009	△ 1.1	94.9	875
11月末	13,372	1.6	93.0	919
12月末	13,751	4.5	92.8	961
2011年 1月末	13,966	6.1	91.9	995
2月末	13,717	4.2	91.9	997
3月末	13,817	5.0	93.4	1,024
4月末	14,098	7.1	92.0	1,062
5月末	13,594	3.3	90.1	1,060
6月末	13,375	1.6	90.8	1,062
7月末	13,081	△ 0.6	90.2	1,054
8月末	11,717	△11.0	97.2	988
(期 末)				
2011年 9月30日	11,038	△16.1	97.1	972

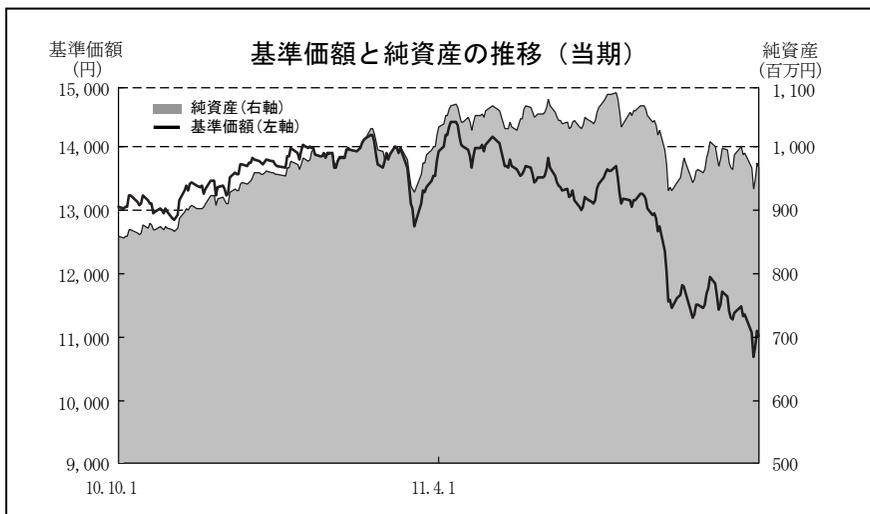
(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

■ 設定来の運用状況



■ 当期の運用状況



■ファンドの基本運用方針

当ファンドは個人家計の「資産形成」を支援することを主たる目的としています。長期投資を通じてこの目的を達成するため以下の方針により「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資します。

- ①「株式」に特化します。
 - ・長期投資では「株式」が債券を上回るパフォーマンスをあげており、今後も長期的には「株式」の収益率が債券収益率を凌駕するものと考えます。
- ②「グローバル」な視点で投資します。
 - ・「グローバル」に投資することで、世界の経済成長を享受することができると考えます。
- ③実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。
 - ・長期間にわたりインデックスを上回る「アクティブ」ファンドが少数ですが世界に点在します。
 - ・投資に当っては、「長期投資」の考え方が確立・実践されており、相対的パフォーマンスが良好なファンドを厳選します。
- ④「バイ&ホールド」を基本としますが、割高時には現金比率を高め、割安時での買い増しにも備えます。

■当期の運用環境

- ① 2010年10月～2011年4月：財政刺激策の「息切れ」懸念などから株価は低迷していたが、世界的な「金融緩和」「財政刺激策」が再度登場したことで、株価は順調に上昇。「スマートフォン」などの普及も後押し。3月の「東日本大震災」による株価下落は短期間で回復。
- ② 2011年5月～2011年7月：「東日本大震災」「アラブの春」「欧州信用不安」などの株安要因と「企業業績好調」という株高要因との綱引きで「先進国」株価は一進一退。一方、「新興国」株価は「金融引き締め」の影響などを受け軟調。
- ③ 2011年8月～2011年9月：米国「財政赤字」をめぐるオバマ政権と議会の対立から今後「財政支援」が弱まるとの懸念から株安がスタート。その直後から「ギリシャ・デフォルト」問題が深刻化。機関投資家を中心に強烈な「株式売り」「債券買い」が発生し、世界同時株安に。

■当期の運用状況

当期は▲16.1%と大きなマイナスの運用実績となりました。

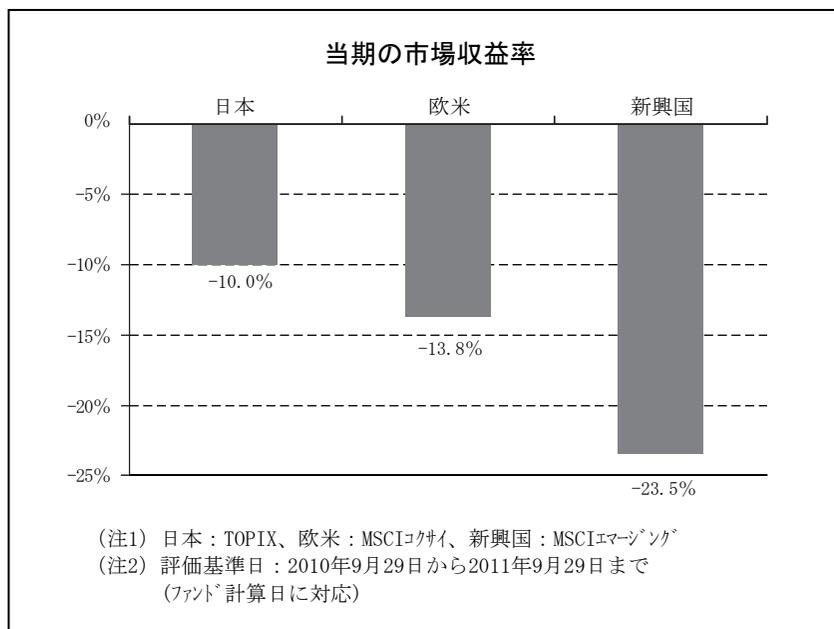
東京市場（TOPIX）：▲10.0%、NY市場（S&P500）：円ベース▲9.5%（ドルベース：▲0.9%、ドル安：▲8.6%）に比べ相対劣後する実績でした。

その要因等は次の通りです。

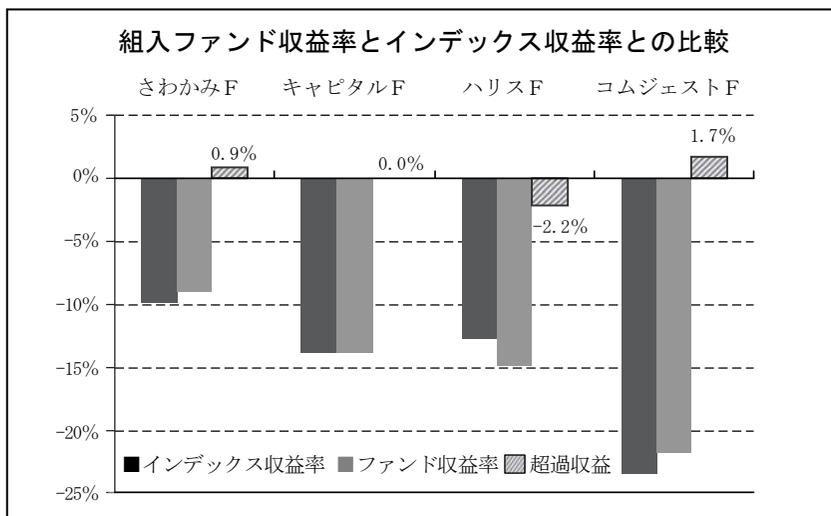
① 新興国市場の組入比率を高めにしていくことが影響しました。

・・・期末現在「組入比率」：日本 16.2%、欧米 37.4%、新興国 43.5%

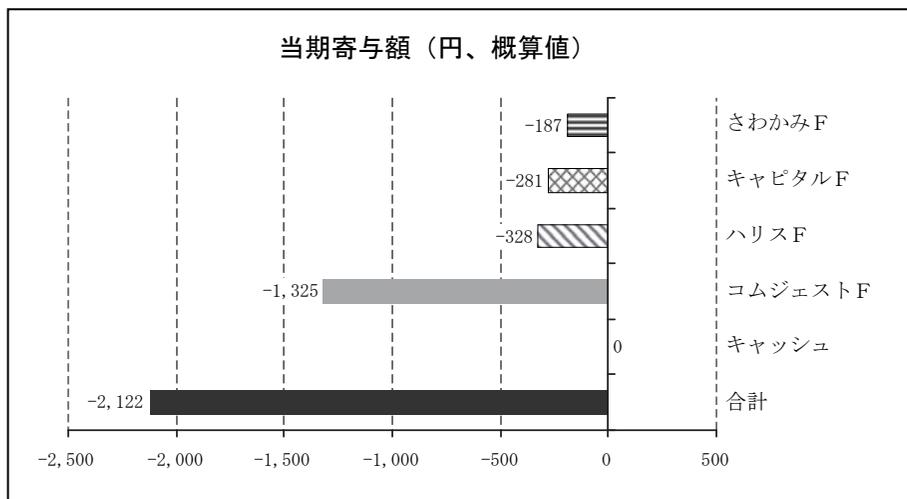
新興国市場は、インフレ抑制のため財政・金融引き締め政策を余儀なくされたこと、欧州金融危機により先進国マネーが流出したこと、などから先進国市場に比べ大きな下落率となりました。…新興国指数（MSCI エマージング）：▲23.5%（円ベース）。



- ② 組入4ファンドの内、1ファンドがインデックスに比べ劣後しましたが、全体としては軽微な影響でした。



組入ファンド別の基準価額への当期寄与額は次のグラフの通りです。



③ 組入比率については柔軟に対応しました。

昨年 10 月以降の株価上昇局面では株価が将来の収益を先取りし過ぎていると考え、組入比率をやや抑制気味にしました。

一方、今年 8 月以降の株価急落局面では収益・資産に比べ株価が割安過ぎると考え、「97%」程度の「フル運用」水準まで組入比率を引き上げました。

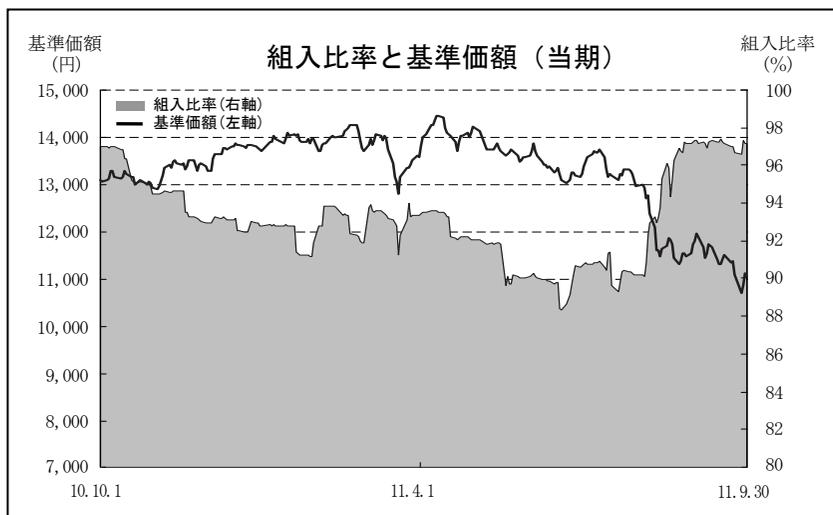
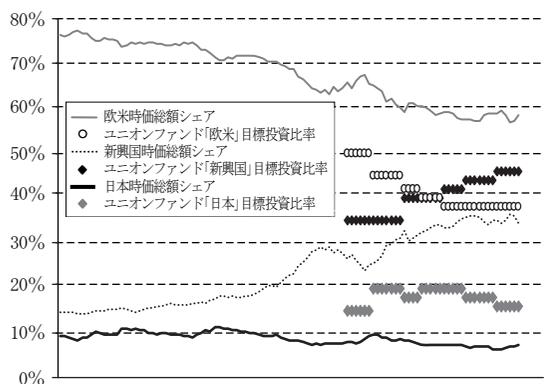


図 1 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



2003年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年

(出所) 「時価総額シェア」：ユニオン投信株式会社調べ

表 1 組入ファンドと組入比率（2011年9月末現在）

組入ファンド	地域	組入比率	目標組入比率	目標比
さわかみ F	日本	16.2%	16%	0.2%
キャピタル F	欧米	17.5%	18%	-0.5%
ハリス F	欧米	19.9%	20%	-0.1%
コムジェスト F	新興国	43.5%	46%	-2.5%
キャッシュ	—	2.9%	—	—
合計		100%	100%	

図2 組入ファンドの基準価額推移 (2008. 10. 20=10,000)

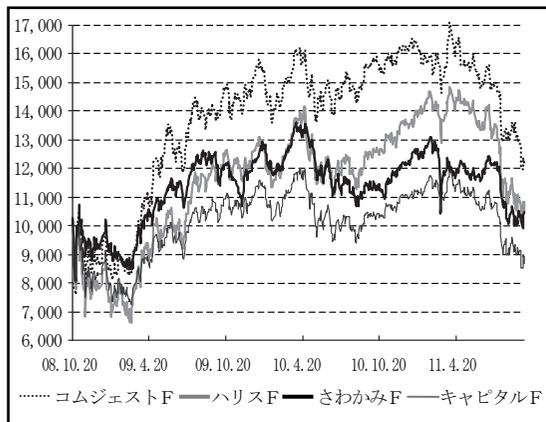


図3 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)

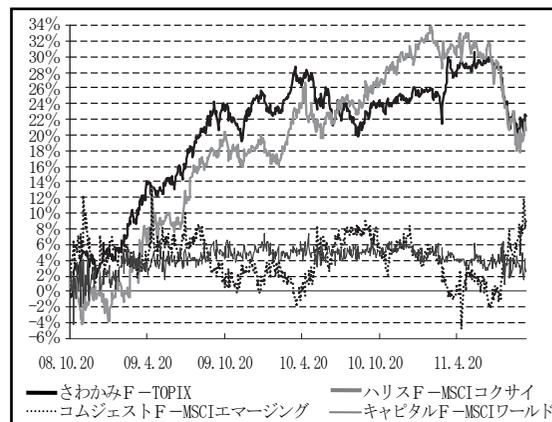


図4 組入ファンド別組入比率推移

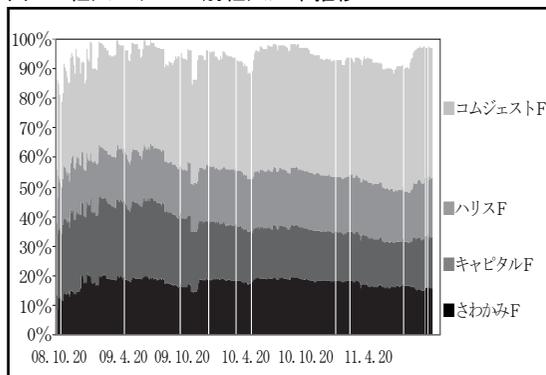


図5 ユニオンファンドの組入比率推移

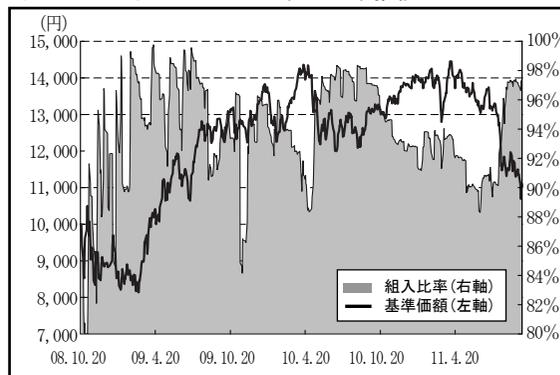
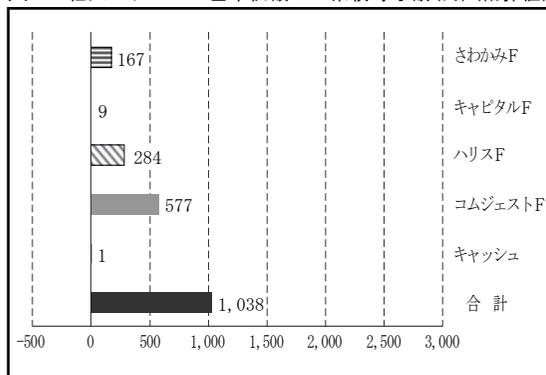


図6 組入ファンドの基準価額への累積寄与額(円)(概算値)



- ・キャピタルFは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスAの略称です。
- ・ハリスFは、ALAMCO ハリス グローバル バリュアーズ株ファンド2007の略称です。
- ・コムジェストFは、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSAの略称です。

■今後の運用方針について

次のような方針で臨みます。

- ① 引き続き「グローバル」な視点で投資していきます。
マクロ要因を的確に分析・予測し、世界各地域への投資配分を柔軟に変更・対応していきます。
- ② 当面、現在の組入れ 4 ファンドに投資していきますが、他の組入れ候補ファンドにも目配りを続けていきます。
- ③ 組入比率については、引き続き柔軟に対応していきます。

■分配金について

当ファンドの基準価額は決算日現在で 11,038 円（1 万口当り）でしたが、分配を行わないことが今後の安定的な運用につながると判断し、第 3 期は無分配とさせていただきます。

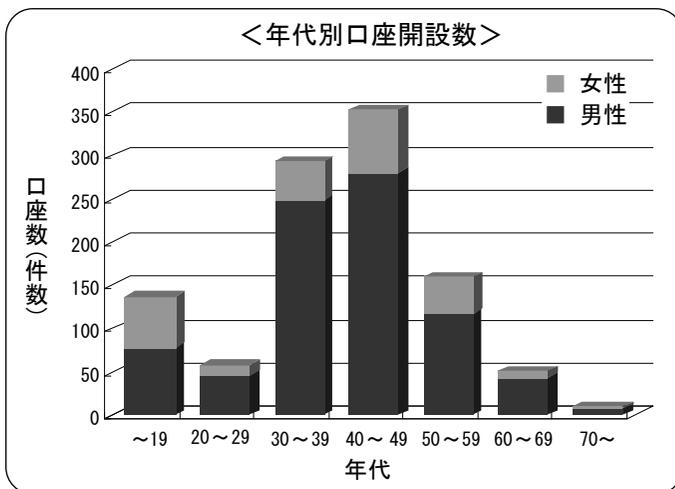
■直接販売状況

今期末のお客様総数は 1,066 名（前期末比+36%）となりました。また、将来に備えた資産形成を現役時代からコツコツ積み立てることが可能な“定期定額購入サービス”をご利用されているお客様は 768 名（前期末比+43%）となりました。実に 72%のお客様が当サービスをご利用いただいております。

当期は 3 月 11 日に発生した東日本大震災、ギリシャ債務危機問題、新興国市場の調整、米国景気の先行き懸念などから世界の株式市場は重苦しい雰囲気漂い、乱高下を繰り返しながら下落基調で推移致しました。

しかし、このような悪い環境にも関わらず、新規で資産運用をスタートされるお客様が多数加わって頂いたことには大変勇気付けられました。

また、今回の株価暴落においてもスポットでのご購入件数が大幅に増加しました。市場が下落している局面でご入金をいただけることは、ユニオンファンドの投資可能資金が増加することにつながり、各ファンドへの組入れ（投資）が進むこととなります。一方、世界経済の先行き不透明なことなどの理由もあり一部解約は前期に比べ



件数、金額ともに微増致しました。しかし、全体比率としてはごくわずかなものであり、この一年も月次ベースでの“入金超”は続いています。

ところで、我が国の一般個人家計においては、株式や投資信託の「長期投資」によって“資産形成”がうまくなされたという経験は非常に少ないのではないかと思います。これを踏まえ弊社では、お客様からのお預かり資金を殖やすことを第一義としながらも、投資信託の長期投資による「資産運用の“文化”」をお客様と共に創って参りたいと考えています。

そのためには、お客様との密接な繋がりが重要です。「月次レポート」での運用状況のご報告や、セミナー・勉強会といった弊社側からの一方通行的な場だけでなく、お客様からのご意見やご質問をお気軽にいただける“座談会”などの開催頻度を上げることなどで“利便性の向上”や“業務の改善”などを図り、お客様が少しでも安心できる資産運用・サービスをご提供することに繋げて参りたいと考えています。

ユニオンファンドを通してお客様が“世界経済の成長”を享受していただけるよう、社員一同これからも邁進して参ります。

■ 1万口（元本 10,000 円）当たりの費用明細（自 2010 年 10 月 1 日 至 2011 年 9 月 30 日）

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	112円 (70) (38) (4)
(b) 保 管 費 用 等	—
合 計	112

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 保管費用等は目論見書等の法定資料作成交付にかかる費用および監査費用などです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 当期中の売買および取引の状況

● 投資信託受益証券・投資証券（自 2010 年 10 月 1 日 至 2011 年 9 月 30 日）

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラス A	35,748	43,500,000	0	0
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA	193,809,267	172,000,000	0	0
ALAMCO ハリス グローバルバリュース株ファンド 2007	88,597,112	54,500,000	0	0
さわかみファンド	7,384,040	8,000,000	0	0

(注) 金額は受け渡し代金です。また単位未満は切り捨てです。

■ 利害関係人との取引状況（自 2010 年 10 月 1 日 至 2011 年 9 月 30 日）

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定されている利害関係人です。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期は自社設定分を一部処分いたしました。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（自2010年10月1日至2011年9月30日）

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 元 本	取引の理由
千円 80,000	千円 -	千円 12,000	千円 68,000	自社財産の運用を目的とした一部処分

■組入資産の明細

●ファンド・オブ・ファンズが組入れた投資対象ファンドの明細

投資資産 の種 類	銘 柄	当 期 末 (2011年9月30日)		
		口 数	評 価 額 (円)	組入比率 (%)
投資証券	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA	148,557	170,247,066	17.5
投資信託 受益証券	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA	568,436,635	422,916,856	43.5
	ALAMCO ハリス グローバルバリュース株ファンド 2007	336,602,708	193,883,159	19.9
	さわかみファンド	146,571,578	157,901,560	16.2
合計		1,051,759,478	944,948,641	97.1
銘柄数				4銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。組入比率は四捨五入してあります。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末 (2011年9月30日)	
	評 価 額 (円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	774,701,575	79.3
投 資 証 券	170,247,066	17.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 、 そ の 他	32,267,720	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	977,216,361	100.00

(注) 金額の単位未満は切捨てです。比率は四捨五入してあります。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2011年9月30日現在)
(A) 資 産	977,216,361円
コール・ローン等	32,267,720
投資信託・投資証券(評価額)	944,948,641
(B) 負 債	4,351,532
未払信託報酬等	4,351,532
(C) 純資産総額(A-B)	972,864,829
元 本	881,413,901
次期繰越損益金	91,450,928
(D) 受益権総口数	881,413,901口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,038円

■損益の状況

項 目	当 期 自2010年10月1日 至2011年9月30日
(A) 配 当 等 収 益	35,850円
受 取 利 息	35,850
(B) 有価証券売買損益	△173,459,204
売 買 益	△173,459,204
(C) 信 託 報 酬 等	△ 8,324,728
(D) 当期損益金(A+B+C)	△181,748,082
(E) 前期繰越損益金	111,250,704
(F) 追加信託差損益金	161,948,306
(配当等相当額)	136,364,667
(売買損益相当額)	25,583,639
(G) 計 (D+E+F)	91,450,928
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	91,450,928
追加信託差損益金	161,948,306
(配当等相当額)	136,364,667
(売買損益相当額)	25,583,639
分配準備積立金	111,250,704
繰 越 損 益 金	△181,748,082

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記> (本書作成時点では監査未了です)

(参考資料)

■指定投資信託証券の運用内容

1 《キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA (ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)》

(半期決算日：2011年6月30日) 計算期間：2011年1月1日～6月30日

※当運用報告書作成日現在、公表されている決算報告書は2011年6月末の半期決算報告書であり、その報告書からの抜粋となります。

◇国別構成比率		◇資産、負債、元本及び純資産の状況	
As at 30 June 2011	%	As at 30 June 2011	
United States	41.7	Assets	
United Kingdom	11.6	Investments at market value	€630,702,381
Japan	9.4	Cash at bank	25,092,915
France	8.6	Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	797,518
Canada	5.4	Receivable for investments sold	568,840
Switzerland	4.4	Prepaid expenses and other receivables	462,422
Germany	4.1	Receivable for fund shares subscribed	171,408
Netherlands	2.4	Unrealised gain on hedged share classes forward foreign exchange contracts	—
Others	8.9	Total assets	657,795,484
Cash & Equivalents	3.7		
		Liabilities	
		Payable for investments purchased	1,900,328
		Accrued expenses and other payables	405,814
		Payable for fund shares redeemed	237,572
		Management fee payable	130,210
		Unrealised loss on hedged share class forward foreign exchange contracts	246,157
		Unrealised loss on forward foreign exchange contracts	85,692
		Total liabilities	3,005,773
		Total net assets	€654,789,711
		Investment at cost	€581,515,586

◇損益の状況

For the six months ended 30 June 2011

Income	
Dividend income (net of withholding taxes)	€8,239,768
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	—
Interest on bank accounts and time deposits	6,104
	8,245,872
Expenses	
Management fee	901,804
Administrative Manager services	338,833
Professional services	177,714
Custody	61,613
Taxe d'abonnement	54,500
Printing and publishing	44,698
Other	43,946
	1,623,108
Reimbursement of expenses	121,009
Net investment income/(loss) (a)	6,743,773
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	14,769,749
Foreign currency transactions	(2,900,451)
Net realised profit/(loss) for the period (b)	11,869,298
Net change in unrealised appreciation/ (depreciation) on:	
Investments	(60,576,993)
Foreign currency transactions	79,364
Net change in unrealised appreciation/ (depreciation) for the period (c)	(60,497,629)
Result of operations for the period (a+b+c)	(41,884,558)
Dividend distribution	(94,999)
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the period	(62,597,453)
Total net assets at the beginning of the period	759,366,721
Total net assets at the end of the period	€654,789,711

2 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）》
第3期（決算日：2010年12月27日）計算期間：2009年12月26日～2010年12月27日

■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	96円 (57) (29) (10)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （ 株 式 ）	27 (27)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 （ 株 式 ）	7 (7)
(d) 保 管 費 用 等	55
合 計	185

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2010年12月27日現在）

項 目	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	千口 2,590,606	千円 2,627,393

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2009 年 12 月 26 日 至 2010 年 12 月 27 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	1,412円
受 取 利 息	1,412
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	176,193,470
売 買 益	176,792,573
売 買 損	△ 599,103
(C) 信 託 報 酬 等	△ 16,450,484
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	159,744,398
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	106,052,277
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△294,061,036
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 146,262,762 ）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（ △440,323,798 ）
(G) 計 (D+E+F)	△ 28,264,361
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	△ 28,264,361
追 加 信 託 差 損 益 金	△294,061,036
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 147,705,218 ）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（ △441,766,254 ）
分 配 準 備 積 立 金	265,796,675
繰 越 損 益 金	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(22,882,835円)、費用控除後の有価証券等損益額(136,861,563円)、信託約款に規定する収益調整金(147,705,218円)および分配準備積立金(106,052,277円)より分配対象収益は413,501,893円(10,000口当たり1,556円)ですが、当期に分配した金額はありません。

■ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド 組入状況（2010年12月27日現在）
組入上位10銘柄

順位	銘柄名	M S C I 業 種 分 類	国 名	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	情報技術	台湾	5.3%
2	JBS SA	生活必需品	ブラジル	4.5%
3	GOLD FIELDS LTD	素材	南アフリカ	4.3%
4	MTN GROUP LTD	電気通信サービス	南アフリカ	3.9%
5	ANGLOGOLD ASHANTI LTD	素材	南アフリカ	3.9%
6	CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	中国	3.3%
7	HTC CORP	情報技術	台湾	3.1%
8	BUNGE LTD	生活必需品	アメリカ	3.1%
9	GRUPO TELEVISIA-ADR	一般消費財・サービス	メキシコ	2.6%
10	NASPERS LTD-N SHS	一般消費財・サービス	南アフリカ	2.5%

(注) 国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

業種別構成比率

MSC I 業種分類	構成比率
生活必需品	25.8%
情報技術	16.5%
電気通信サービス	13.1%
一般消費財・サービス	10.5%
素材	10.1%
資本財・サービス	8.6%
金融	6.9%
エネルギー	2.0%
ヘルスケア	1.7%
公益事業	1.3%
	96.3%

国別構成比率

国名	構成比率
南アフリカ	14.7%
ブラジル	13.7%
台湾	12.1%
中国	9.2%
インド	6.8%
メキシコ	5.6%
アメリカ	5.1%
ロシア	5.0%
韓国	4.0%
チリ	3.8%
香港	3.7%
トルコ	3.7%
マレーシア	2.0%
ウクライナ	2.0%
ギリシャ	1.9%
ケニア	1.9%
イスラエル	1.2%
	96.3%

(注) 国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

3 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）》

第4期（決算日：2011年3月9日） 計算期間：2010年3月10日～2011年3月9日

■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細（2010年3月10日～2011年3月9日）

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	94円 (72) (16) (6)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	8 (8)
(c) 有価証券取引税 （株 式）	4 (4)
(d) 保管費用等	4
合 計	110

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。(各項目ごとに円未満は四捨五入) なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

(d) 保管費用等＝期中の保管費用等÷期中の平均受益権口数

■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2011年3月9日現在）

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株 マザーファンド	千口 15,699,006	千口 13,126,217	千円 10,456,345

(注) 単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2010 年 3 月 10 日 至 2011 年 3 月 9 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	70,241円
受 取 利 息	70,241
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	895,509,033
売 買 益	1,196,773,137
売 買 損	△ 301,264,104
(C) 信 託 報 酬 等	△ 121,401,594
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	774,177,680
(E) 前 期 繰 越 金 損 益 金	△ 872,245,707
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△3,064,987,996
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 162,018,525）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（△3,227,006,521）
(G) 計 (D + E + F)	△3,163,056,023
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△3,163,056,023
追 加 信 託 差 損 益 金	△3,064,987,996
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 167,880,265）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（△3,232,868,261）
分 配 準 備 積 立 金	195,392,028
繰 越 損 益 金	△ 293,460,055

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(131,288,567円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(167,880,265円)および分配準備積立金(64,103,461円)より分配対象収益は363,272,293円(1万口当たり265円)でありましたが、当期は分配を行いませんでした。

■ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド 組入状況（2011年3月9日現在）

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	組入比率
1	INTEL CORP	4.9%
2	APPLIED MATERIALS	3.9%
3	JULIUS BAER GROUP	3.7%
4	CARNIVAL CORP	3.2%
5	BANCO SANTANDER S.A	3.2%
6	FRANKLIN RESOURCES	3.1%
7	ALLIANZ SE	3.0%
8	DIAGEO PLC	3.0%
9	BANK OF NEW YORK MELLON	3.0%
10	NESTLE SA-REG	2.9%

組入上位10業種

順位	業種名	組入比率
1	各種金融	19.1%
2	半導体・半導体製造装置	10.0%
3	食品・飲料・タバコ	8.4%
4	素材	8.3%
5	エネルギー	6.5%
6	資本財	5.9%
7	メディア	5.7%
8	商業・専門サービス	5.6%
9	銀行	5.5%
10	ソフトウェア・サービス	5.2%

(注) 組入比率は純資産総額に対する比率、業種はGICS（世界産業分類基準）に基づく24産業グループです。

4 《さわかみファンド》

第12期（決算日2011年8月23日）計算期間：2010年8月24日～2011年8月23日

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	128円 (70) (45) (13)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	1 (1)
合 計	129

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 組入資産の明細

株式組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率 (%)
1	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	3.88
2	5108	ブリヂストン	ゴム製品	3.25
3	7011	三菱重工業	機械	2.75
4	9104	商船三井	海運業	2.50
5	4452	花王	化学	2.42
6	6752	パナソニック	電気機器	2.38
7	1605	国際石油開発帝石	鉱業	2.30
8	7752	リコー	電気機器	2.04
9	6902	デンソー	輸送用機器	1.80
10	4063	信越化学工業	化学	1.78

(注) 比率は8月23日現在における純資産総額比です。

■損益の状況（自 2010 年 8 月 24 日 至 2011 年 8 月 23 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,229,176,443円
受 取 配 当 金	4,216,824,965
受 取 利 息	1,273,110
そ の 他 収 益 金	11,078,368
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 19,171,409,486
売 買 益	8,029,390,851
売 買 損	△ 27,200,800,337
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,463,097,887
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 17,405,330,930
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 47,844,252,260
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	75,065,016,200
(配 当 等 相 当 額)	(113,249,045,439)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 38,184,029,239)
(G) 合 計 (D+E+F)	9,815,433,010
(H) 収 益 分 配 金	—
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	9,815,433,010
追 加 信 託 差 損 益 金	75,065,016,200
(配 当 等 相 当 額)	(113,249,045,439)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 38,184,029,239)
分 配 準 備 積 立 金	46,990,264,596
繰 越 損 益 金	△112,239,847,786

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。